

## 2020 年 3 月期 第 1 四半期 決算説明会 主な質疑応答（要旨）

### Q1 第 1 四半期の減益の背景と第 2 四半期以降の見通しを教えてください。

- 集配体制の構築に伴う人的コストが増加したことや、労働環境の整備に係る修繕費等の一過性費用が前期第 4 四半期から継続したことに加え、大口法人顧客の取扱数量が想定を下回ったことなどが営業利益を押し下げる要因となりました。
- 引き続き、プライシング適正化を推進するとともに集配キャパシティの拡大を進めますが、大口法人顧客の取扱数量が想定を下回ることを視野に入れ、コストコントロールを強化していきます。
- また、アカウントマネジメントを強化し、法人向けのソリューション営業を加速することで、お客様に新たな価値を提供し、今後の利益成長に向け取り組んでいきます。

### Q2 アンカーキャストの採用状況と今後の見通しを教えてください。

- 2019 年 6 月末時点で 6,300 人程度となっており、ほぼ計画通りの採用状況です。
- 中期経営計画に沿って、今期中の 1 万人体制に向け採用を進めていますが、今後の宅急便取扱数量の動向を注視しながら適切にコントロールしていきます。

### Q3 大口法人顧客の取扱数量が想定を下回った背景と今後の見通しを教えてください。

- 複数荷物をまとめて発送するなどの顧客による工夫や、顧客の販売動向等が影響していると捉えています。
- 今後も、大口法人顧客の取扱数量が弱含みで推移することも視野に入れながら、プライシング適正化を継続的に推進し、集配キャパシティに応じた取扱数量の拡大を図るとともにコストコントロールに努めていきます。

以 上